



きぬこかい新聞

総合地震防災訓練

首都直下型地震に備えよ

防災週間中の平成二十二年九月三日(金)、総合地震防災訓練を実施しました。今回の訓練は、首都直下型地震を想定した大規模災害時における関東地方整備局全体の行動マニュアル、業務継続計画(BCP)の検証、防災担当者の災害対処能力の向上を目的としたものです。下館河川事務所管内では震度6強の地震が発生したと想定し左記の各種訓練を行いました。

【訓練内容】

- 支部設置訓練
- 施設・工事現場状況・許可工作物 状況など各種点検・報告
- BCPに基づく応援部隊の派遣
- 被災箇所への応急復旧検討
- 緊急復旧情報伝達
- 予備発電設備運転訓練
- Ku-SAT設置訓練
- 防災エキスパート活動訓練

※業務継続計画(BCP)ってナニ？

災害に伴う被害を受けても、災害対策業務や一般重要業務を中断しないこと、中断してもできるだけ短い期間で再開できるように業務継続を追求する計画を「業務継続計画」(BCP)と呼びます。下館河川事務所では、災害前に人・モノ・情報の準備すべき行動を整理した「事前行動計画」と、発災後の対応方法や組織などその行動を整理した「震後行動計画」を定め、この二つの計画を総称して業務継続計画としています。

君島堰ゲート操作講習会 業務・安全の再確認

下館河川事務所管内の河川管理施設では、上流のダムの放流や大雨による出水・取水等に関連する水位の変化・調整などに対応するため、各施設状況に合わせた操作と、常に施設を安全・的確に作動させるための機器や施設周りの点検が不可欠です。田畑の取水期間が終了し、堰を開ける時期にあわせ、下館河川事務所では、鬼怒川・小貝川の河川管理施設の管理・点検体制の充実及び職員の技術力維持と向上を目的に、平成二十二年九月十五日(水)に「君島堰(小貝川)ゲート操作講習会」を実施しました。点検により得た施設の現況の把握や、訓練で操作のノウハウの再確認を行なった知識や技術をもとに今後河川管理体制の充実をよりいっそうはかかって参ります。



Ku-SAT設置訓練 応援部隊の派遣 被災箇所の応急復旧検討 支部配置状況確認 水位状況等情報収集 情報伝達訓練

テレビやラジオやインターネットなど、防災には様々な情報が役に立ちます。日頃からこれらを活用し災害に備えましょう。下館河川事務所のホームページの情報もご活用下さい

- 「防災・災害情報」
<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/bousai/index.htm>
- 「鬼怒川・小貝川・大谷川浸水想定区域図」
http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/08_hanra/kinu/kinu.htm

平成二十二年年度工事に向け 河川環境保全モニターと 現地調査を実施

下館河川事務所では、平成二十二年八月二十五日(水)に平成二十二年年度に行う鬼怒川・小貝川の工事で樹木等の伐採予定箇所について、河川環境保全モニター(植物の専門家である水海道自然友の会の五木田氏と、茨城自然博物館の小幡氏)とともに現地調査を行い、河川環境が維持されるよう各工事予定箇所ごとに樹木等伐採に当たってのアドバイスをいただきました。これまで得られた調査結果やアドバイス等を参考に伐採箇所等の検討等を十分に行い環境に配慮した工事を実施していきます。地域や河川利用の皆様には、ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、安全な河川のために御協力を御願いたします。



この訓練での経験や反省をもとに、今後も地震災害対処能力の向上、防災計画、体制の検証と改善をはかり、危機管理体制の取り組みを進めて行きます。**不意な地震の発生に！** 皆さんも、地震などの災害発生時にどう行動するか、地域の避難場所や家族への連絡方法、身の回りの防災用品を確認するなど災害への備えについて考えてみましょう。

地震などの災害に備えるポイント

非常持出品の準備

- ※避難場所での生活に最低限必要な準備をしておきましょう。
- ※負傷したときに応急手当ができるように準備しておきましょう。
- ※非常持出袋は、いつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

(常持出品の例)

貴重品	救急器具薬品
応急生活用品	食料品 など...

避難場所や家族への連絡方法も確認しておきましょう。

コスモスが見頃を迎えます

鬼怒川・小貝川では、コスモスが咲き始めています。下妻市の小貝川ふれあい公園花畑では九月二十五日(土)から十月三日(日)に、コスモスを自由に持ち帰れる催しが、高根沢町の鬼怒グリーンパークでは、コスモス祭りが十月二日(土)から十月二十四日(日)まで行われるとのことです。さわやかな秋空のもと鬼怒川・小貝川に可憐に咲く花々を見に来てみてはいかがでしょうか。

下館河川事務所では、「地域活性化応援隊」を配置し地域づくりを積極的に支援しています。国の機関として地域の皆様の相談の窓口となります。ご相談頂いた内容に対してどんなサポートができるか関係部局への橋渡しをします。

まずは、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ・相談窓口
下館河川事務所0296-25-2161(代表)

きっかけ・相談 アドバイス 地域づくりの実践 継続運営

詳細は、下記ホームページをご覧ください
http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/07_info/h22katseikaoutai.pdf

発行
国土交通省
下館河川事務所
きぬこかい情報発信局

〒308-0841
茨城県筑西市二木成1753
Tel. 0296-25-2161
HPアドレス
<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>

